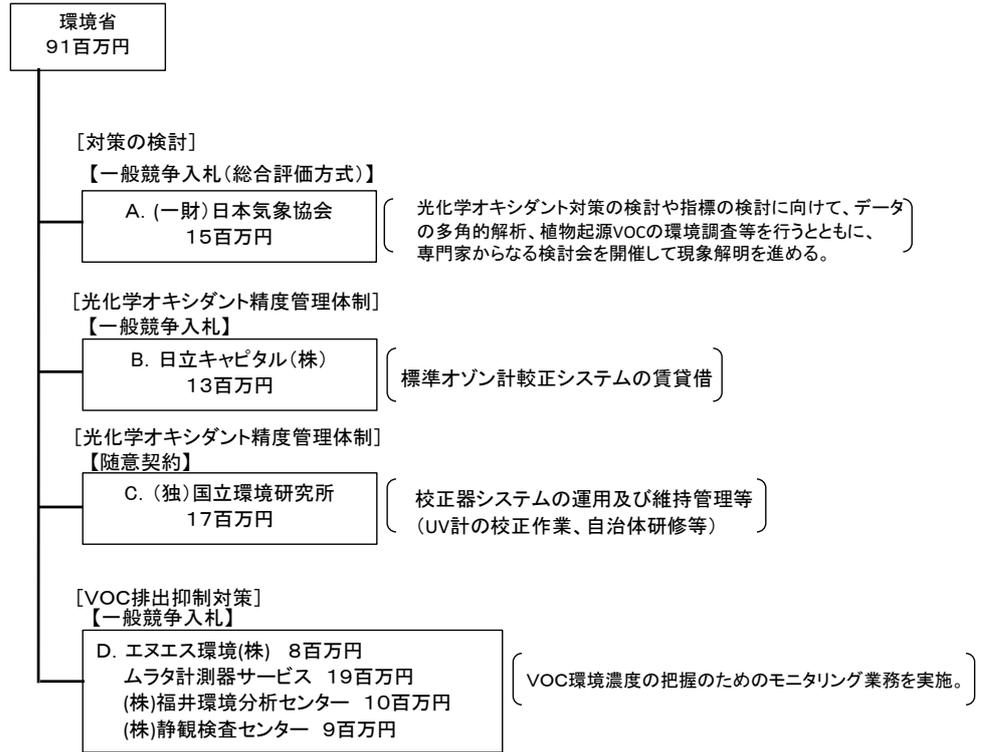


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	光化学オキシダント総合対策推進費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	大気環境課		大気環境課長 難波 吉雄		
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-1 大気環境の保全 (酸性雨・黄砂対策を含む)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	大気汚染防止法第17条の3～15、22、23、24条		関係する計画、通知等	環境基本計画 常時監視に係る事務処理基準 環境大気常時監視マニュアル				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	より信頼性の高い光化学オキシダントに係る常時監視体制の維持、適切なVOCモニタリングの実施、測定データの多角的解析、シミュレーションの高度化等を通じて、光化学オキシダントに関する現象解明を進めることにより、効果的・効率的な光化学オキシダント対策の実施を図る。また、環境改善効果を適切に示す指標についても検討する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成21年度に構築した国際的に標準とされているオゾン測定器を基準とした光化学オキシダント濃度測定に係る精度管理体制を維持運営する。光化学オキシダントの現象解明に資するVOCモニタリング、測定データの多角的解析、シミュレーションの高度化等について、専門家の議論・意見を踏まえつつ実施し、よりの確に光化学オキシダントに関する現象解明を進める。また、環境改善効果を適切に示す指標についても併せて検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	111	91	64	55		
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	111	91	64	55		
	執行額		53	94	91			
執行率 (%)		48%	103%	142%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	環境基準達成率			成果実績	0.1	0.5	集計中	100
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	VOC排出削減量(平成12年度比) ※目標年度:平成22年度			活動実績 (当初見込み)	44%	44%	集計中	-
					(30%)	()	()	
単位当たりコスト	5,088 (円/台日)			算出根拠	校正システム1台当たりの賃貸借に係る費用。 13百万円÷7台÷365日			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	55	-	- 微小粒子状物質(PM2.5)等総合対策費に統合したため。				
計	55	-						

項目		評価	評価に関する説明			
国費 必要性 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・光化学オキシダントについては、国民の関心も高く、環境基準達成率も極めて低いため、ニーズも優先度も高い。 ・オキシダントのようは広域的な汚染で且つ、発生源寄与が未解明である物質について対策を検討するにあたっては、調査・研究・対策検討を集約して行うべきであり、国が行うことにより、民間や地方自治体の情報や意見を中立的な立場で集約することができる。 			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・競争入札を基本とし、業務を適正に遂行する上で、1社に限定される場合のみ随意契約した。 ・業務の完全な完了を確認してから支出を行っている。 ・仕様作成、積算算定の際に業務内容と費目・用途について確認している。 			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—					
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の先生等の意見を聞きながら、より効果的な事業を実施している。 ・業務完了報告において、見込みにあった成果物ができているかを確認している。 ・今後の対策の検討に役立っている。 			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名		
点 検 結 果	執行率が大きく超過していることについては、事業全般について、予算要求の際に必要な事業費を適正に積算し要求することに努める。光化学オキシダント濃度測定に係る精度管理体制の効率的・効果的な運用について、国立環境研究所及び各自治体と協議し、当該体制についての情報交換及び改良点等について検討するとともに、消耗品費の使用状況を精査し、経費削減に努める。また、機器賃貸借等を長期契約とすることにより、経費の削減に努める。					
	揮発性有機化合物(VOC)に係る環境モニタリング調査については、平成24年12月26日の中央環境審議会答申「今後の揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制対策の在り方について」において、光化学オキシダント対策の検討に資する調査項目・内容へ変更するべきであるという指摘を頂いたため、これに対応した調査項目・内容を検討する。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	対策を強化すべきであるが、効果的・効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃 止	86「微小粒子状物質(PM2.5)総合対策費」に統合					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	051	平成23年	039	平成24年	040

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(一財)日本気象協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	データ解析、環境調査、検討会運営など	7			
借料及び損料	調査器具損料、分析費、検討会会場借り上げ料	4			
旅費	環境調査旅費、検討会委員旅費、ヒアリング旅費	2			
諸謝金	検討会委員、ヒアリング有識者	1			
その他	検討会速記、お茶、資料・報告書印刷	1			
計		15	計		
B.日立キャピタル(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	13			
計		13	計		0
C.(独)国立環境研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	一次標準器維持管理、二次標準器システムの校正及び調整等、二次標準器システム	5			
消耗品・修繕費	二次標準器システムのメンテナンス、維持管理の為に日常的部品交換等、オゾン標	3			
外注費	オキシダント2次標準器を用いたブロック毎の自治体標準器の校正支援業務並びに精	3			
賃金	予算管理事務、研修等の資料作成、運営会議の運営補助、報告書作成	2			
その他	一般管理費等	2			
旅費	二次標準器の校正に係る研修会、運営会議旅費	1			
通信・運搬、雑役務費	スケール校正の為に二次標準器の送付、標準参照光度計(SRP)試験評価等	1			
計		17	計		0
D.ムラタ計測器サービス			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		19			
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		19	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)日本気象協会	光化学オキシダント対策の検討や指標の検討に向けて、データの多角的解析、植物期限VOCの環境調査等を行うとともに、専門家からなる検討会を開催して現象解明を進める。	15	4	60%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立キャピタル(株)	Ox校正機器等の賃貸借	13	1	100%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	Ox校正システムの運用管理費	17	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)福井環境分析センター	揮発性有機化合物の分析費【中国・四国ブロック】	10	3	97%
2	ムラタ計測器サービス(株)	揮発性有機化合物の分析費【近畿・東海・北陸ブロック】	10	3	88%
3	(株)静観検査センター	揮発性有機化合物の分析費【九州・沖縄ブロック】	9	2	92%
4	ムラタ計測器サービス(株)	揮発性有機化合物の分析費【関東・甲信越ブロック】	9	5	67%
5	エヌエス環境(株)	揮発性有機化合物の分析費【北海道・東北ブロック】	8	4	93%